

# ☆赤ちゃんのために予防接種を☆

平成 26 年 2 月版

## ♡予防接種とは？♡

- ★ お母さんが赤ちゃんにプレゼントした免疫（感染症に対する抵抗力）は、発育につれて自然に失われていきます。
- ★ そのため、長期間の高熱や脳炎・脳症などを引き起こす感染症にかかりやすくなります。
- ★ **重症化しやすく、有効な治療法がほとんどない感染症から大切な赤ちゃんを守るのが予防接種です。**
- ★ 赤ちゃんの健康を守るために、**忘れずに予防接種を受けましょう。**



【広島市が実施している予防接種の種類】（決められた対象年齢や接種間隔を守った場合は無料です。）

●ヒブ ●小児用肺炎球菌 ●4種混合（ジフテリア・破傷風・百日せき・ポリオ） ●BCG  
●麻しん（はしか）・風しん（三日ばしか） ●日本脳炎 ●子宮頸がん予防 ※平成 26 年秋、「水痘（みずぼうそう）」追加予定

※その他の予防接種は自己負担での接種になります。料金は医療機関によって異なります。各医療機関へお問い合わせください。

## ♡予防接種の受け方♡

### 1 接種はお子様の体調のよいときに！

子どもの健康状態をよく知っている保護者が、かかりつけの小児科に連れて行きましょう。  
明らかに発熱（37.5℃以上）しているときは、接種できません。

### 2 受診時は必ず母子健康手帳を！

母子健康手帳別冊の接種券に必要事項を記入し、医療機関に提出して接種します。医療機関受診時は必ず母子健康手帳を持って行きましょう。

### 3 しっかり計画を！

ワクチンごとに対象年齢や接種間隔が決まっています。  
発育と共に外出の機会が多くなるので、スケジュールを立てて早めに接種しましょう。



生後2か月になったら、  
ワクチンデビュー！！

ぼくのために、予防接種  
を忘れないでね！



♡予防接種については、広島市ホームページでもご案内しています。最新の情報はホームページでご確認ください。♡

【ご不明な点は下記の各区保健センター（健康長寿課）へお問い合わせください。】

中保健センター	504-2528	東保健センター	568-7729	南保健センター	250-4108
西保健センター	294-6235	安佐南保健センター	831-4942	安佐北保健センター	819-0586
安芸保健センター	821-2808	佐伯保健センター	943-9731	健康福祉局保健医療課	504-2622

（参考）子供の急病についての相談窓口やホームページ

「こどもの救急電話相談」（毎日 19:00～翌朝 8:00）	#8000（局番なし）または 082-505-1399
おかあさんのための救急&予防サイト「こどもの救急」	<a href="http://www.kodomo-qq.jp">http://www.kodomo-qq.jp</a>
「パパ・ママ応援 “おうちの看護”」	<a href="http://www.ikuchan.or.jp/kango">http://www.ikuchan.or.jp/kango</a>

# 予防接種で防げる病気はどんなもの？



## Hib(ヒブ)感染症

- 4か月から1歳半の乳幼児に多く発症します。
- 細菌が血液や髄液に入り込んで、菌血症や髄膜炎などを発症します。
- 初期症状は発熱が多く、風邪の症状と区別が困難です。けいれんや意識障害へ進行し、死亡することがあります。

## 小児の肺炎球菌感染症

- 2歳以下の乳幼児に多く発症します。
- 細菌が血液や髄液に入り込んで、菌血症や髄膜炎などを発症します。
- 初期症状は発熱が多く、風邪の症状と区別が困難です。重症化しやすく、けいれんや意識障害へ進行し、死亡することがあります。

## ジフテリア

- 主症状は、発熱、のどの痛み、嘔吐、せきなど。
- のどの炎症が強くなり、窒息して死亡することもあります。
- 症状が出てから2～3週間後に神経の麻痺が起きることや、心臓の筋肉に炎症が起こり、突然死亡することもあります。

## 百日せき

- カゼのような症状から連続的にせき込むようになり、せきのあと、笛を吹くような音が出ます。熱は出ません。
- 乳幼児はチアノーゼ（体が紫色になる）やけいれんが起きることがあります。また、肺炎や脳症などの合併症を起こし、死亡することもあります。

## ポリオ(急性灰白髄炎)

- ポリオウイルスが口の中に入り、腸の中で増えて感染します。
- 増えたポリオウイルスが便に排泄され、この便を介して他の人に感染します。
- ウイルスが脊髄の一部に入り込み、主に手足にまひが現れ、まひが一生涯残ることがあります。

## 破傷風

- 土の中などにいる破傷風菌が傷口から入り感染します。
- 顔の筋肉が動かしにくい、口が開きにくいなどの神経症状が出て、全身のけいれんが起こることもあります。
- 呼吸ができなくなり死亡することがあります。
- 人から人へは感染しません。

## 結核

- 患者の咳などにより、空気中に浮遊した結核菌を吸い込むことにより感染します。
- 多くの人は感染しても発病しませんが、体の抵抗力が弱まると、菌が体内で増殖し発病します。
- 小児では症状が現れにくく、全身に及ぶ重篤な結核につながりやすいため、注意が必要です。

## 麻疹(はしか)

- 10日程度の潜伏期間の後、発熱とせきと鼻汁、めやにが続きます。
- 熱が上がったり下がったりし、赤い発疹が首すじや顔などから全身に広がります。
- 気管支炎、肺炎、中耳炎、脳炎などの合併症を引き起こし、死亡することもあります。
- とてもうつりやすいので、注意が必要です。

## 風しん(三日はしか)

- 2～3週間の潜伏期間の後、赤い発疹、発熱、首のリンパ節の腫れなどの症状が出ます。
- 合併症には関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などがあります。
- 妊婦が妊娠早期にかかると、心臓病、白内障、聴力障害などの障害を持った赤ちゃんが生まれることがあります。(先天性風しん症候群)

## 日本脳炎

- 豚の中で増えた日本脳炎ウイルスが蚊を介して人に感染します。
- 7～10日の潜伏期間の後、高熱、頭痛、おうと、意識障害、けいれんなどの症状の急性脳炎を起こし、死亡することがあります。
- 人から人へは感染しません。



平成26年3月27日

各医療機関の長 様

広島市健康福祉局保健医療課長

産婦への予防接種勧奨ちらしの配付について（依頼）

このことについて、予防接種を受けることの重要性を多くの産婦に理解していただくため、本市において、予防接種勧奨ちらしを作成しました。

つきましては、別添のちらしについて、妊産婦へ配付していただきますようお願いいたします。

なお、ちらしが不足した場合はお送りしますので、お手数ですが、下記連絡先へお知らせいただきますようお願いいたします。

保健予防・指導係

担当：下村

電話：082-504-2622